

既に隔離された場合は、「隔離された場合 P6~8」から始めてください。

※MST2000 の場合は tpm1000.exe の所を mst2000.exe に置き換えて作業してください。

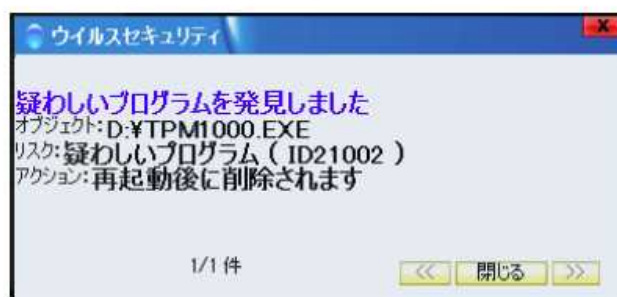
## ウイルスセキュリティ ZERO

### 「検査除外ファイル」への登録方法

ウイルスセキュリティ ZERO の場合、初回 tpm1000.exe を実行した場合に「疑わしいプログラムを発見しました」の表示とともに、「再起動後に削除されます」というメッセージが表示されます。

この場合、再起動前に事前に登録しておくことで、tpm1000.exe の実行が可能になります。

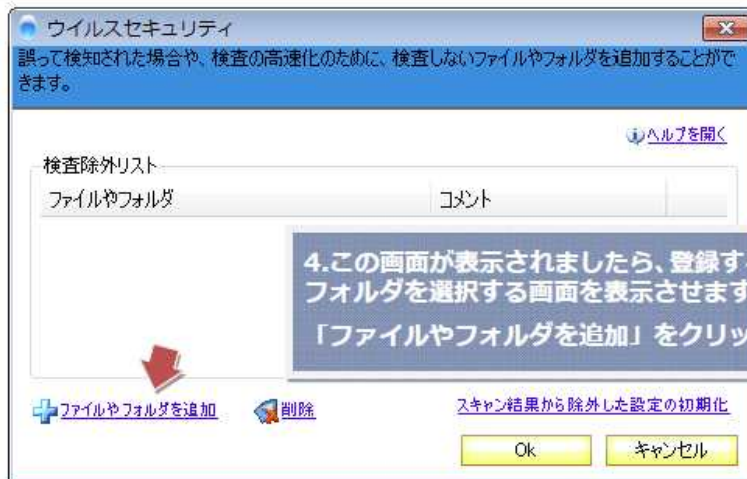
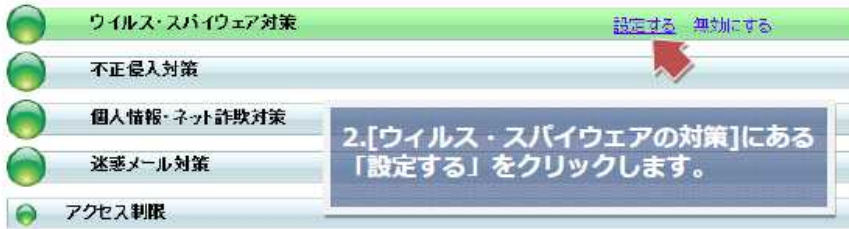
※例ではリムーバブルディスク"D:¥"になっています。

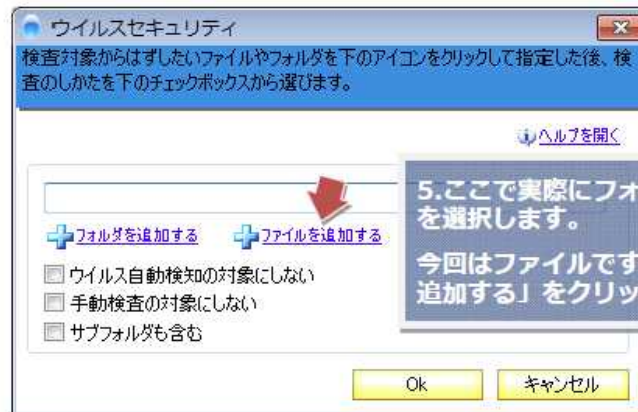


1. ウィルスセキュリティ ZERO の設定画面を表示させます。

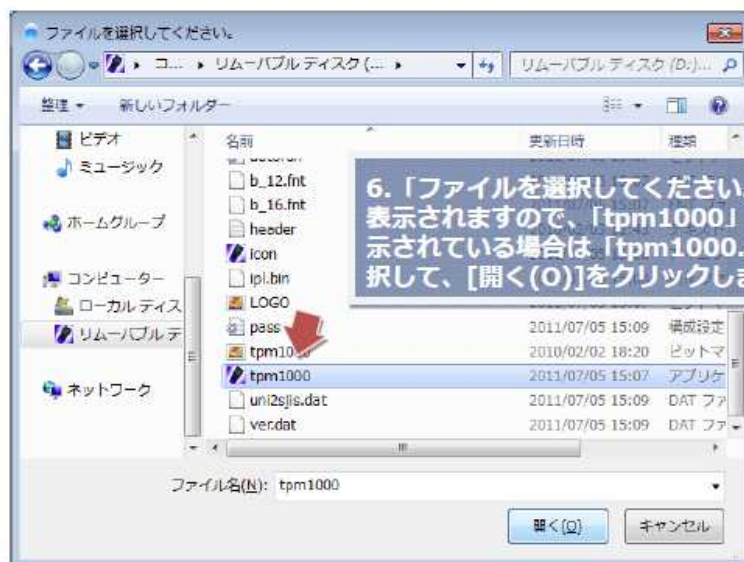


自動監視 緑ランプはON、赤ランプはOFFを表わします。バーをクリックすると設定できます。

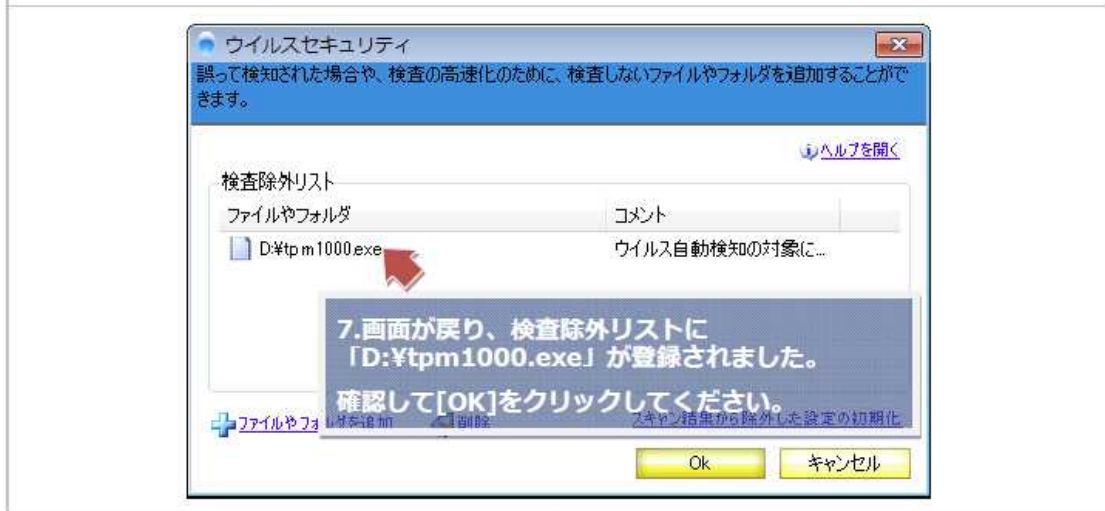
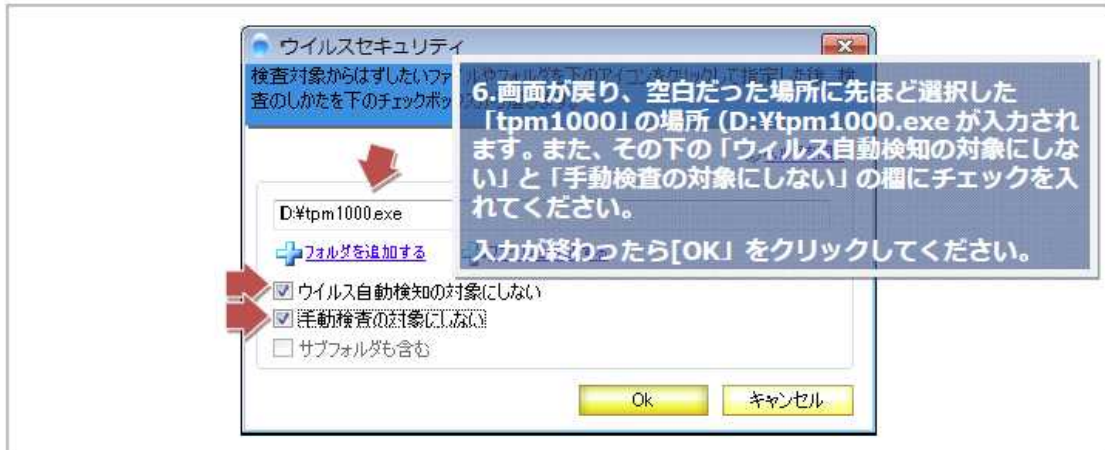


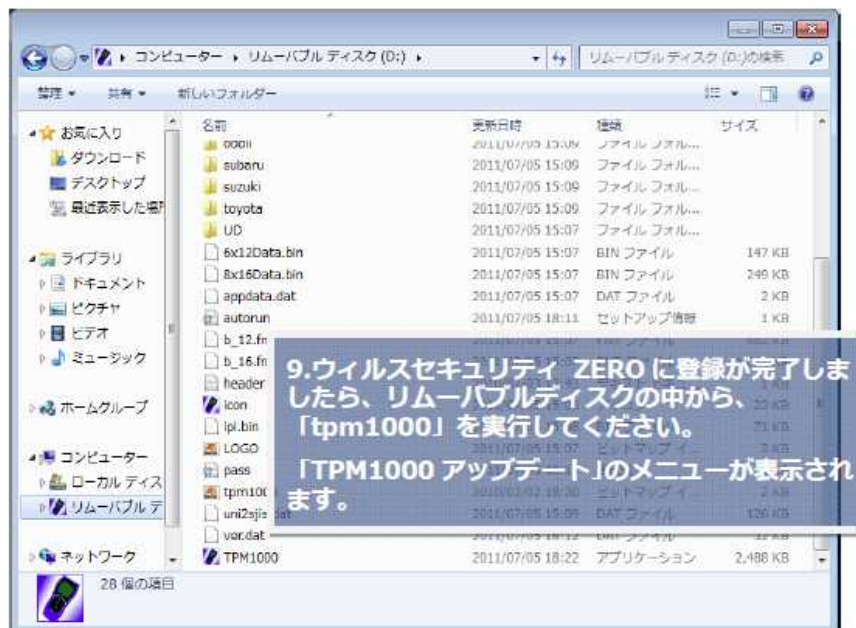
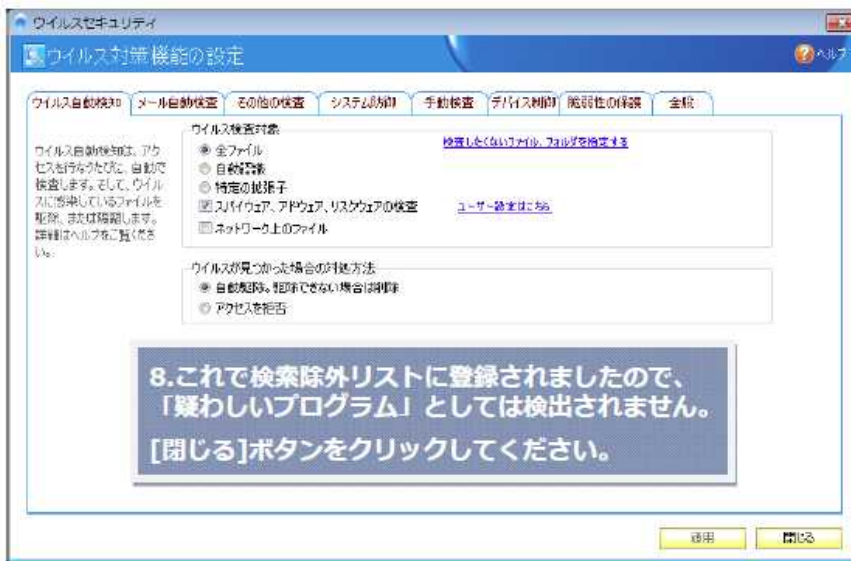


5.ここで実際にフォルダかファイルかを選択します。  
今回はファイルですので、「ファイルを追加する」をクリックします。



6. 「ファイルを選択してください。」の画面が表示されますので、「tpm1000」（拡張子が表示されている場合は「tpm1000.exe」）を選択して、[開く(O)]をクリックします。



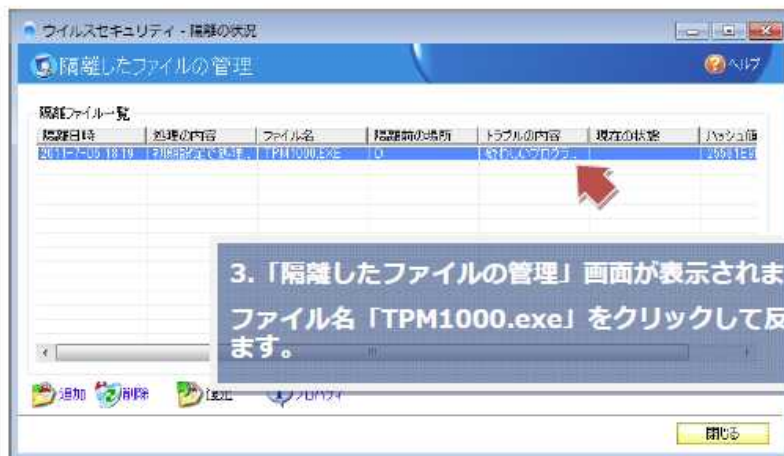


すでに、隔離された場合は、次の「隔離された場合」をご覧ください。

## 隔離された場合

すでに隔離された場合は、これから行うファイルの復元を実行した後に前項の「事前に登録する」を行ってください。

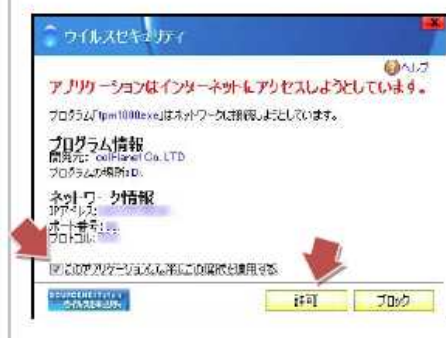






復元が完了しましたら、『「検査除外ファイル」の登録方法』の登録方法を参照して、「tpm1000.exe」を検索対象からはずしてください。

※登録せずに「TPM1000」を実行すると、もう一度隔離されます。



※[アップデートチェック]をクリックして、「TPM1000 アップデート」がサーバーに接続を試みると、「アプリケーションはインターネットにアクセスしようとしています。」というメッセージが表示されます。

この時、必ず[許可]してください。

ここで[ブロック]してしまうと、アップデートができません。また、「このアプリケーションには常にこの選択を使用する」のチェックボックスもチェックを入れておいて下さい。